

# 区長との懇談会開催

平成 29 年 11 月 7 日（火）に、区役所内で区長との懇談会が開催されました。

区役所側からは、区長をはじめ、副区長、総務課長、区政推進課長、地域振興課長、資源循環局



神奈川事務所長等のご参加をいただき、区民協議会からは、代表委員、各部会正副部会長が参加しました。

懇談会に先立ち、各部会から質問事項を提出し、それらについて区長からご回答をいただきました。

「後継者と情報を考える会」は、町会のホームページ作成に対する助成と若い人の地域への参加対策を質問しました。ホームページについては区連会ホームページ立ち上げについて検討している、各町会へは助成ではないがまずはホームページ制作のための情報提供などの支援をしていきたい、若い人の地域参加については地域づくり大学校を区として展開している、子育て中の方に地域活動に参加してもらう試みをしているとのことでした。

「M・Mの会」は、集積場所に貼る掲示物の種類を質問し、区より啓発看板の一覧をいただきました。

「なまずの会」は、参与・参与補助に対する教育体制について、地域防災拠点の課題について、単位町会でモデル地区として推奨できる基準について質問をしました。参与・参与補助に対しては年度当初の基礎知識習得研修に始まり「DIG 訓練」や「資機材取扱訓練」などを計画的に実施しているが、庁内での連絡会を開催し各拠点の課題等を共有し対応・改善策を検討してより能力向上を進めたいとのことでした。地域防災拠点の課題については、いざという時の動きまで意識したより実践的な訓練という視点において各拠点の取組内容に差があると認識しているので、参与・参与補助を通じて拠点充実に向け粘り強い働きかけを行うのと同時に拠点間の事例共有の場を作っていくとのことでした。モデル地区となる町会については、地域特性に応じた減災活動の実施、近隣住民の関係づくりができていないか、重点対策地域では、スタンドパイプ、感震ブレーカー、共助推進事業活用をしている町会がモデル地区、先進的地区と考えているそうです。

各ご回答に関して活発な意見交換がなされ、今後の部会活動の充実に繋がる良い機会となりました。

区民協議会は、今後も行政と区民とを繋ぐパイプ役となれるような活動をしていきます。

